

Home Island Project について

Home Island Project
代表 伊藤 智子



HIP 集合写真



四国出身の8人の設立メンバーが呼びかけ、外から四国へ恩返しをしたいと思います。四国出身の人々、他の地域から四国という島に魅力を感じていた人々、たまたま住んだ四国が大好きになっていった人々、様々な人が集まり、HIPは活動

「四国」の魅力を、世界中に発信したい——
そんな思いから、2008年初頭に東京で発足した、四国を愛する有志のネットワーク「Home Island Project (ホーム・アイランド・プロジェクト、通称「HIP」)」。現在メンバーは約1300名、応援して下さるサポーターは約600名になりました。

設立の経緯

元々、四国各県出身の学生や若手社会人が、東京で地元を応援する活動をしていました。

その県単位の活動を、「四国」へ統合させ、HIPが誕生しました。皆が四つの県の魅力をあわせた「四国」という島に、無限の可能性を感じたためです。

をしています。

四国の魅力を、あらゆる角度から伝えるために、各種のプロジェクトを推進してきました。ここで一部をご紹介します。

ビジネスフォーラム

08年3月、四国で世界的なビジネスをしている企業・団体のトップを招き語り合う、ビジネスフォーラム「世界につながる四国の企業」を東京で開催しました。今治の池内タオルはじめ4社のトップから、首都圏で働く四国出身者に、独自の経営哲学、地元への思いを伝えてもらいました。自然体で世界を相手に仕事をするパネリストの話聞き、参加者は「不便で田舎」というイメージを超える、新しい四国を知ることができました。

09年3月には、ユニークなU/Iター経験者を集めて、検討中の若者と本気で語り合う「You Turn」みんなの知



HIP ビジネス



らない、みんなが知りたい。いまだき四
国のUターン」を開催しました。

お祭り

〔四国大夏祭り〕、 阿波踊り「HIP連」等

08年6月、四国の食物・地酒を集め、阿波踊りやさこいの連も呼び、東京大手町で「四国大夏祭り」東京の中心で「四国」をさけぶ」を盛大に開催しました。蛇口から出るぼんじューズ、実演讃岐手打ちうどん、高知の地酒：、四国の夏を東京で丸ごと楽しんでしまおうという企画は大成功で入場制限するほどの人気でした。

09年の夏には、阿波踊りにHIP連を作って参加、徳島県人以外も阿波踊りの魅力を実体験することができました。

農業（「農」と言える四国）シリーズ

08年8月から11月にかけて、四国の若手農家と東京の食のプロをつなぐイベント「農」と言える四国」を開催しました。四国の魅力的な食材と、東京のフードコーディネーター等、食のプロを一同に集め、新商品開発、四国の生産現場へ

の実地訪問、表参道でレシピ披露、即売会など、四国の農業を応援するプロジェクトをすすめてきました。

教育（HIPカタリバプロジェクト）

09年4月、NPO法人カタリバと協力して、高校生と大人たちが、仕事、人生、大学選徳島市立高校で運営しました。特に、四国に対して熱い思いを抱いている大人たちと語り合うことで、高校生に「勉強して都会に行つて働く」という直線的なキャリア以外の可能性を、高校生に提示することができました。今後も四国の若者のキャリア形成に少しでもヒントを示せるような活動をしていく予定です。

エコ

四国の自然を守りたいという思いで、四国の森や海を愛するHIPの仲間が、四国の自然、またそれを守る人々を外に向けて紹介しています。まずは四国の森、山、水を守っている林業従事者、素敵な木こりさんたちを紹介する本を出版予定です。



HIP 農

HIP「囲む会」

その他、四国のリーダー達を囲んで、定期的に勉強会を開催するなど、様々な方面から「四国」を応援する試みを続けています。これまでには、四国九州アイランドリーグ代表の鍵山誠さんなど、四国を盛り上げる先輩たちに登場頂きました。

今後の活動計画

上記すべてのプロジェクトは継続しています。また、関西でもHIPの動きが始まっています。

私たちは、今まで「四つの県」としか考えてこなかった四国を、「二つの島」としてあらためて見つめなおすことで、小さい島の中に、個性的で多様な魅力が不思議に共存していることを知りました。今後も四国の魅力を日本・世界に発信して、四国を応援していきます。

居住地を問わず、応援してくれる方を募集しています。ご興味のある方は、ぜひ下記までアクセスしてください。活動のご案内をしますので、ぜひホームページからメールマガジンの登録をお願いします。